

勝山市総合行政審議会（第11期第16回）結果概要

- 開催日時 平成23年9月1日（木） 午後7時～午後9時
- 開催場所 教育会館3階 視聴覚研修室
- 出席者等 出席委員 10名
事務局 企画財政部未来創造課

1. 会長あいさつ

2. 議題

（1）平成22年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

- 3. 産業とまちのにぎわいなど若者に魅力のあるまちづくり
- 4. 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり

【質疑応答】

農業の担い手（認定農業者、集落営農組織）の育成 内部評価4 ⇒ 外部評価4（一）

●委員

- ・認定農業者に2名が継続申請しなかった理由とは何か。

○事務局

- ・年齢的、身体的な理由と聞いている。

●委員

- ・目標通り新規は1名増でも、継続しなかった者が2名いて結果的に1名減ということでは、高評価を付けるには根拠が弱いように思う。

●委員

- ・認定農業者の基準をクリアして初めて認定農業者になれる。当初に、県の指導により30名程認定した時点で市内の潜在的な予備軍はほとんどいなくなっていた。現在はそれより増えていて、限界状態に近い中での1名増は評価できる。認定農業者が高齢化してきており、病気や年齢によってリタイヤすることは今後も考えられる。

●委員

- ・認定の基準を聞きたい。推薦人が必要なのか。また、認定農業者として認められるのは何年までか。年齢的な制限はあるのか。

●委員

- ・推薦は必要ない。自分で申請し、今の耕作面積と所得をクリアしないと申請できない。5年で切り替える。

○事務局

- ・認定農業者の認定基準は、①専業農家であるかもしくは専業農家を目指すこと、②実質的な農業所得申告者であること、③意欲があり、地域の中で農業の担い手として認められていること、④5年後の所得目標が1人あたり450万程度、労働時間が年2,000時間程度となること、⑤青色申告をすること、⑥休日制の導入や臨時雇用の確保、などといったものがある。年齢制限はなく、今回のお2人はご自身の意思で継続申請を辞退された。

●委員

・平成21年度と同じ目標設定をしている理由は何か。

●委員

・認定農業者の基準を満たす人が勝山にどれくらいいるのか。今後増える要素があるのか。

●委員

・ほとんどいない。

○事務局

・候補者を拾い終わってしまっている状態で、新規の開拓が難しく高齢化も進んでいる。今後は個人を法人化することが課題。

●委員

・島田委員の話を聞くと理解はできるが、実質的に減った中で4の評価が通るのか。3でも良いのではないか。

●委員

・目標が「新規認定農業者個人1増」なので、目標は達成している。目標に対する評価であれば4のままでいいのではないかと思う。

●委員

・これまでの話を聞いて、評価理由が「認定農業者数を維持、増加させることが難しい状況の中で、新規の認定農業者1名増」ということであれば、評価4でも問題ないと思う。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

循環型農業の推進 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

・ヤギ放牧以外の取組みはないのか。

○事務局

・ヤギは多くの草を食べ、糞をしてそれが肥料となるので、循環型農業への関心を高める事業であると考えている。

●委員

・農業公社の事業として耕作放棄地の下(ヤギの「舌」)草刈りを担っている。ヤギは池田町が先進地として取り組んでおり、池田町から借りたという経緯がある。

・ヤギはかわいい動物なので、保育園や幼稚園でのふれあいも行っている。

●委員

・農業振興ビジョンは、総合計画とは別物か。どのような位置づけとなっているのか。総合計画との齟齬はないのか。

○事務局

・各部課で、観光振興ビジョン、景観計画、都市計画マスタープラン、地域福祉計画など様々な分野別計画を、総合計画と並行、または総合計画を受けて作成している。

・総合計画で基本的な方針を明示し、詳細を実施計画のような形で策定している。

●委員

・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

・異議なし

農業特産品の開発推進・販売奨励支援制度の拡大 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

有害鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止 内部評価2 ⇒ 外部評価3 (↑)

●委員

- ・目標にある、クマによる人身被害発生件数0件は、行政努力で達成できるのか。

○事務局

- ・社会的環境によって、どうにもならないものは、目標としてはすぐわないとは考える。ただ、このケースでは担当課として高い目標を立て、積極的な周知や啓発を努力することで目標を達成しようとした。

●委員

- ・平成22年度の周知、啓発活動は積極的であったし、その効果はあったと思う。目標からみた評価は2であると思うが、広報活動によって人身被害が軽減できた部分もあったと考えられる。
- ・内部評価は2だが、これでよろしいか。

●委員

- ・被害拡大防止に向けた取り組みを評価して、評価は3でもよいのではないか。

●委員

- ・内部評価は2だが、外部評価を3としてよろしいか。

●委員

- ・異議なし

里山の荒廃防止 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (ー)

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

産業振興支援策の充実（産業振興懇話会の充実と活用） 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (ー)

●委員

- ・工業団地は現在全て埋まっているのか。

○事務局

- ・保田は、当初全て埋まっていたが、出て行った企業の後に新たな企業が入ってきていない。高島でも同様。ただ、一部では地元企業が事業拡大するために整地したところもある。

●委員

- ・がんばっていることを評価したい。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

中心市街地活性化にかかる事業の推進 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (ー)

●委員

- ・創業塾は最初集まった人数は多かったが、その後回数を重ねるたびに人数が減ってきている。

○事務局

- ・創業塾については、最初14人が参加し、最後まで受けたのは10人。

- 委員
 - ・創業塾によって起業した人はいるのか。

- 事務局
 - ・起業まで至った者はいない。

- 委員
 - ・企業家の育成に取り組まれたい。
 - ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

- 委員
 - ・異議なし

新しい産業を誘導する・新しい企業を誘致する 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

- 委員
 - ・工業振興助成制度を改訂した結果、利用者はいたのか。

- 事務局
 - ・平成22年度の旧制度で条件雇用数5人をクリアして申請したところがある。半年間の状況を見極めて助成金を交付する制度であるので、今年度予算化されている。
 - ・制度改訂後の平成23年度も申請は出てきている。

- 委員
 - ・企業誘致のあり方について考えてほしい。地元企業を育て、地元企業が市外に出て行かないようにすることも企業誘致同様に重要なテーマといえる。

- 事務局
 - ・昨今の経済状況をもても、市外から新規に企業が入ってくるのは難しい。地元企業の支援にシフトし、工業振興助成制度を地元企業が利用しやすいように条件を緩めるなどして、アシストしている。

- 委員
 - ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

- 委員
 - ・異議なし

観光誘客の促進 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

- 委員
 - ・まちなか観光とはどういった意味か。

- 事務局
 - ・中心市街地へ観光客に来ていただくという考え方。

- 委員
 - ・まちなか観光を施策としながら、目標にまちなかのことが出てきていない。

- 事務局
 - ・恐竜博物館に年間50万人の観光客が実際に来ている。こういった観光客を市街地に呼び込むことを勝山市の観光戦略の中に位置づけている。

- 委員
 - ・恐竜博物館が一級の観光施設であるなら、恐竜博物館を中心に据えて恐竜をメインにPRすることが優先ではないか。恐竜を見に来た観光客をまちなかに呼び込むのは難しいのではないか

- 事務局
 - ・確かに観光客の目的とは違う場所に誘客するのは難しいのが現状だ。しかし、勝山市には恐竜だけではなく、平泉寺やゆめおーれ勝山など、さまざまな資源がある。

- ・平成21年にはゆめおーれ勝山がオープンし、市街地近くまでの誘客の拠点整備ができた。今後は、民間の努力で市街地に誘客する必要もある。
- ・まちなかへの誘客は庁内でも検討しているので、ご指摘を踏まえてさらに議論を深めたい。

●委員

- ・まちの駅は全国にあるが、こういったもので勝山市のメインとなる通りを活性化して誘客につなげてほしい。
- ・恐竜博物館と平泉寺の両方を観光の中核としてまちなかに誘客するという、あえて難しいことに挑戦する必要はないのではないか。

●委員

- ・客層が恐竜博物館と平泉寺では違う。それをそれぞれ市街地にどう呼び込むかが課題。

○事務局

- ・県では、恐竜博物館に訪れる50万人の観光客を100万人にしたいとの構想を打ち出した。こういったものに対応していくためにも、市としてしっかりと考えたい。

●委員

- ・市民によるまちづくり団体が活発に活動している。個々では小さいが、若者の力を結集して活用し、民でできることと官でできることを住み分けて示して、支援をしていただければ、まちなか誘客にも繋がる。

●委員

- ・現在、ガイドなどを付けてまちなかやジオパークを散策する観光団体がいるのか。

○事務局

- ・ジオパークの推進のなかで、ゆめおーれ勝山を拠点としてジオサイトを巡るツアーを開催している。案内は市職員が行っているが、今年度末までにガイドの育成を目指している。
- ・観光ボランティアガイド、ジオパークガイド、ふるさと検定などを統合しながら、市としての観光案内を再構築したい。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

四季折々の自然を利用した体験型宿泊旅行の企画と誘致 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・体験プログラムは現在、県では農林水産部に移行している。観光政策課にあるイメージがわからない。

●委員

- ・勝山の受入体制はかなり優秀。年々参加者が増加している。

○事務局

- ・今年度から始まった第5次総合計画の中では、複数課にまたがる事業も評価できるように、施策レベルでの評価を予定している。

●委員

- ・第5次総合計画基本計画の第6章で横断的連携政策を掲げているので、しっかりと対応してほしい。
- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

エコ（まちなか）サイクリング誘客の推進 内部評価2 ⇒ 外部評価2（一）

●委員

- ・道の駅はなぜできないのか。

○事務局

- ・ご期待に応えられるように現在検討している。

●委員

- ・レンタサイクルの利用者は何人いたのか。

○事務局

- ・平成22年度の年間利用は延べ70台。平成21年度の年間利用は延べ37台。現在は10台の自転車があるが、初年度は寄付を受けた2台だけだった。

●委員

- ・この重点項目の平成21年度評価は1だった。今年は評価2。連続して内部評価が低く大きな進展がみられない。民間なら撤退している。

●委員

- ・勝山は坂道が多く、若い人の集客がないと数が増えない。若い人が来ないところに自転車を置いていても、利用者は少ない。

○事務局

- ・重点項目である「エコ（まちなか）サイクリング」については、ゆめおーれ勝山のレンタサイクルだけではなく、春のサイクルフェスタ、秋のグランfond、恐竜溪谷の自転車散策ルート、恐竜の森でのレンタサイクルなどを併せて、勝山を自転車で回れる町にしようという大きい目標をもっている。平成22年度の評価はゆめおーれ勝山だけに焦点が当たってしまったが、平成23年度評価からは、政策全体を見て評価していただけるようにしたい。
- ・しかしながら、平成22年度評価については、目標にある通り、ゆめおーれ勝山でのレンタサイクルについて評価していただきたい。

●委員

- ・どういった層を対象としているのか。

○事務局

- ・子ども連れなど若い方を対象としている。周知さえできれば潜在的なニーズは充分にあると思っている。

●委員

- ・自転車でゆっくり回ってまちなかを見るということは、対象者に宿泊してもらうことが必要になる。自転車に乗っての観光では、若い人が来ないのではないか。

○事務局

- ・確かに自転車に乗れるかたとなると、必然的に若い方が対象者となる。
- ・10月15日、16日に開催されるグランfondでは、現在1,700人以上の申込みがあるようだ。自転車で巡る勝山の魅力というのは、マニアの中での人気は高い。それを一般に周知していくための仕掛け作りをしていきたい。

●委員

- ・えちぜん鉄道にもレンタサイクルがあるので、連携を図ってほしい。恐竜溪谷ルートやまちなかマップをもっと活用してほしい。

●委員

- ・利用者の意見を聞いているのか。利用者の声は周知を図るためにも必要。
- ・レンタサイクルを市内観光施設の関係者に利用してもらって意見を聞くのもよい。

○事務局

- ・恐竜溪谷の自転車散策ルート開発の際には、一般市民に実際に自転車で走ってもらって感想をいただいた。グランフォンドでも、まちなかめぐりのルートを提案している。
- ・ご意見を参考にしたい。

●委員

- ・内部評価は2だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

まちの駅ネットワーク勝山の機能向上を図る 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・まちの駅ネットワークにはどれくらい加入しているのか。

○事務局

- ・38事業者

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

はたや記念館ゆめおーれ勝山の活用 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・2階ミュージアムゾーンまで行かなくても、ゆめおーれ勝山に10万人が来ていることはすばらしい。

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

社会資本整備総合交付金事業の推進 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・河原町通りの整備とはどういったものか。

○事務局

- ・舗装の高質化や融雪などが中心である。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

北谷地区の地域振興（地域活性化に向けた要望への対応） 内部評価4 ⇒ 外部評価4 (一)

●委員

- ・よくやっていると思う。現在、北谷地区で各区から2名を選出して活性化協議会を立ち上げた。今後、北谷地区の再生、活性化に向けて方向性を見出していく。
- ・地域自身でできることと、行政に支援していただくことを精査している。

●委員

- ・内部評価は4だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

利便性の高いバス運行体制の確立 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・バスの待合所の変更は仕方ないが、発着時間の変更はしないでほしい。

○事務局

- ・無意味な時間変更はしないようにしている。ただし地元からの強い要望があった際は検討して変更する場合もある。

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

「恐竜バス」の効率的な活用 内部評価5 ⇒ 外部評価5 (一)

●委員

- ・混雑するGWや夏休みに、シャトルバスと併せて恐竜バスを利用してほしいということか。

○事務局

- ・えちぜん鉄道の勝山駅到着時刻と恐竜バスの発車時刻を合わせるなどして、連携、活用することが目的。恐竜博物館の駐車場渋滞緩和の効果は副次的なものと考えている。

●委員

- ・内部評価は5だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

えちぜん鉄道の利用促進 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・このまま利用者の減少が続けば、再度、鉄道が廃線の危機に陥るということを、市民に周知すべき。何のために第3セクターとしてえちぜん鉄道を設立したかを市民にもう一度啓発すべき。
- ・なぜ利用者数が伸び悩んでいるのか原因の検証が必要。

○事務局

- ・えち鉄サポーターズクラブへの加入者が減ってきていることは事実。市民の危機意識が希薄化していることも原因のひとつと考えられる。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

学校、市有公共建築物の耐震化を進める 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・耐震化5棟を目標にしている、なぜ3棟にとどまったのか。

○事務局

- ・国の予算の関係による。学校は7月20日からしか工事できず、入札に間に合わなかった。緊急度の高い予備費の補正であるため繰り越しを認められず、遅れて正式な補正で採択を得た。国の予算決定時期がこちらのニーズに合わなかった。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

災害情報伝達方法の改善と各地区の自主防災組織の設立支援 内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・自主防災組織の設立要件緩和の内容は何か。

○事務局

- ・備品購入事業の補助金について、自主防災組織設立時に20万分の備品を購入する必要があったが、申請の時期など状況に合わせて随時の申請を可能とした。また、2回までに分けての申請も可能になった。
- ・活動事業補助金について、一律1万円だったが、50世帯以下は1万円、51～100世帯は2万円、101～200世帯は3万円、201世帯以上は5万円とした。

●委員

- ・平成23年度に新規に設立されたところはあるか。

○事務局

- ・現時点で10地区増加しており、今年度中に30地区に増える見込みである。
- ・除雪機の助成と自主防災組織の設立を一体化したことと、東日本大震災の発生により、設立の気運は高まってきている。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

災害時要援護者支援計画に基づく要援護者の登録の推進と支援組織の構築

内部評価3 ⇒ 外部評価3 (一)

●委員

- ・要援護者登録を拒否する場合もあるのか。

○事務局

- ・要援護者の総数はつかんでいる。対象者の自主申告を受けて登録しているが、未登録者に対する説明不足もあると思われる。
- ・いつ発生するか分からない災害の際に、隣近所、自主防災組織、行政が情報を把握しているかどうかで対応も大きく変わってしまう。
- ・今後も趣旨をしっかりと説明しながら、要援護者登録を推進していく。

●委員

- ・個人情報保護法がネックとなっている。勝山市内にはまだまだ独居老人が多くいる。

●委員

- ・要援護者登録への対応は非常に大変。3という評価が低いのではないか。

●委員

- ・内部評価は3だが、これでよろしいか。

●委員

- ・異議なし

以上